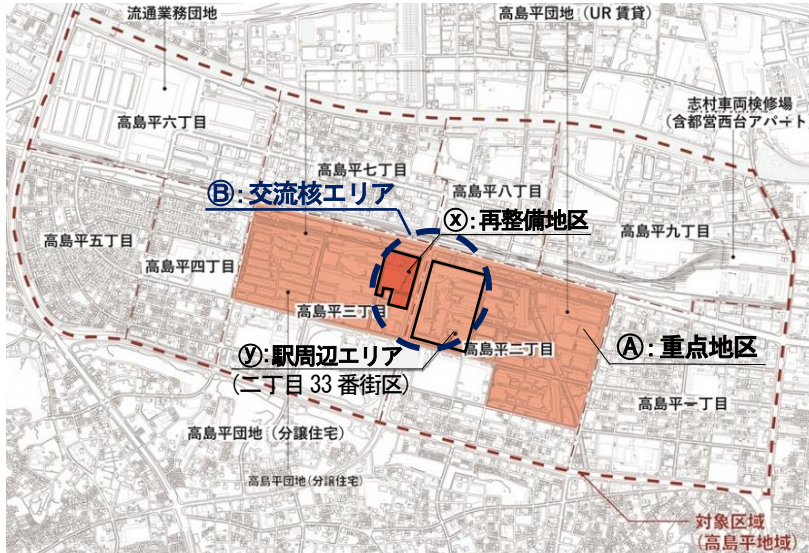


高島平地域のまちづくりの状況について

1 まちづくりの対象地域

高島平一丁目から九丁目まで（約314ha）



【凡例】

A: 重点地区
都市再生を効果的・効率的に進めるための第一歩となる地区

B: 交流核エリア
高島平地域都市再生実施計画に基づき、連鎖的都市再生により地域内外の交流核を形成するエリア (X再整備地区・Y駅周辺エリアを含む)

X: 再整備地区 (約2ha)
旧高七小跡地を含む公共用地

Y: 駅周辺エリア (約6ha)
二丁目33番街区 (UR賃貸住宅)

2 まちづくりの経緯

- ・平成27(2015)年10月 「高島平地域グランドデザイン」策定
- ・令和4(2022)年2月 「高島平地域都市再生実施計画」(以下、「実施計画」)策定
- ・令和4(2022)年3月 独立行政法人都市再生機構(以下、「UR」)との間で「高島平地域の連鎖的都市再生の推進に係る基本合意書」締結

3 交流核形成まちづくりプランの検討(令和4年度~5年度)

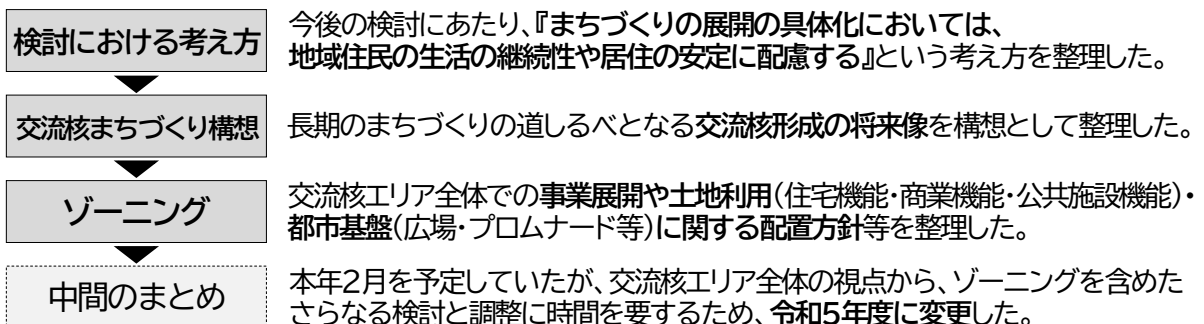
(1) 目的

区は、昨年2月に策定した実施計画において「高島平駅前での交流核の整備方針」をまとめ、「再整備地区を起点とする連鎖的都市再生」に取り組む方針を示した。また、昨年3月には、実施計画に基づく連鎖的都市再生を協働で推進することについて、URと基本合意した。

実施計画及び基本合意に基づき、令和4年度から5年度にかけて、交流核の形成に向けたまちづくりを具体化するプランについて区とURが共同で検討するものである。

(2) 令和4年度のプラン検討経緯

令和4年度は、以下のとおり段階的にプランの検討を進めた。



(3) 直近の地域からの意見収集の実績について

都市建設委員会での前回報告（令和4年12月）以降は、以下のとおり意見を収集した。

①地域説明会の開催実績

地域全域を対象に、区・UR共同での説明会を開催した。

開催日時	開催場所	参加人数
令和4年12月8日(木) 19:00~20:00	いずれも	48名
令和4年12月10日(土) 10:00~11:00	高島平区民館ホール	38名

※その他、区ホームページに説明会での説明内容を録画した音声付動画を掲載

②まちづくり連絡会の開催実績

各町会・自治会、三丁目分譲団地の各管理組合及び公募委員を対象に、区・URが情報共有や意見交換を図るためのまちづくり連絡会を開催した。

開催日時	開催場所	参加人数
令和4年12月20日(火) 19:00~20:00	高島平区民館ホール	17名

③アンケート調査の実施

今後のまちづくりの方向性等の検討に向けて、アンケート調査を実施した。

実施時期	実施方法	回答人数
令和4年12月23日(金) ~令和5年1月8日(日)	高島平三丁目住宅団地居住者を対象に 調査票をポスト投函・郵送回答	766名 (回収率32.8%)
令和5年3月19日(日)	緑地活用イベント来場者を対象に Web形式・紙形式併用で調査	121名 (来場者約1000名)

(4) 令和5年度のプラン検討について

①検討の方向性について

今年度は、昨年度の検討を踏まえ、引き続き地域住民の「生活の継続性」や「居住の安定」に配慮する視点を堅持しつつ、魅力と活力あふれる高島平地域の交流核の形成に向けて、以下の視点から、交流核エリア全体のゾーニングを含めたさらなる検討の深度化を図る。

- ・地域資源であるプロムナード（高島平緑地・けやき通り等）をはじめとする豊かな都市基盤を活かし、「使われ方」を意識した高島平らしい特徴ある公共空間の整備
- ・区民、地域団体、大学、民間事業者等の多様な主体による創造的活動や交流活動を育み支える未来志向の高島平地域の都市再生に向けた、都市機能（住宅機能・商業機能・公共公益機能等）の相互連携や、都市機能と公共空間との連携強化
- ・まちづくりの効果の早期発現に向けた事業展開の具体化

②スケジュールについて（予定）

令和5年 9月 都市建設委員会報告（中間のまとめ）

令和5年12月 都市建設委員会報告（素案）、パブリックコメント

令和6年 2月 都市建設委員会報告（原案）

令和6年 3月 区・UR基本協定締結